

特集：市民活動の情報発信・・・


視覚障がいのある方たちへの情報提供について

市民活動団体の多くは、自分たちの活動を知ってもらうために、会報や情報紙などを発行しています。一方、会報などを読まれる側の方々には、印刷された文章を読むことが困難な方もいらっしゃいます。視覚障がいのある方、ディスレクシアの方、漢字は苦手という方、外国人の方などです。

今回の特集では、シムネット(当会)の会員団体でもある「視覚障害者パソコン教室」の例会にお邪魔して、代表の羽鳥さんはじめ、磯野さん、野島さん、益子さんに、視覚障がいのある方へはどのような工夫をして通信を送ったらよいかなどについて伺いました。

シムネットでは、「連」を「視覚障害者パソコン教室」の羽鳥さんにメールでお送りしています。送る際には文章をテキストファイルに変換し、余分な記号は取り除くなどといった工夫をしてきました。

たとえば、

- ◆ 2/10(水)を2月10日(水曜日)に変える
- ◆ マークなどの図は使わず、「電話」と表現する。などを基本として、読みにくいと推測できる変換を行うなどです。

《みなさんからの答え、ご意見》

- ◆ 添付ファイルで送ってもらうより、メール本文に載せてもらったほうが読みやすい。
- ◆ 私は、添付で送ってもらった方が良い。
- ◆ 最初に目次があるとよい。全部に目を通す必要がない。これは目の見える人の場合も同じですが、見えない人の場合は、ともかく全文音声化したものを聞いていかないと、興味ある部分にたどりつきにくい。
- ◆ 改行をタイトル毎にする。
- ◆ 英文はだいたい読める。誤読は少ない。むしろ英語の方がなめらかに読んでくれる。
- ◆ かっこや句読点を逐一読むので煩わしい。PCTカーで、かっこは読まない、句読点は読まないように設定している。
- ◆ 両端揃えにすると行の折り返しの所で熟語が切り離されていて意味がわからないことがある。
- ◆ 表題のあと、行をあけて本文、とすると読みやすい。
- ◆ エクセルの表は明瞭に読める。前に戻るのも簡単。
- ◆ 自分が入力するときは、エクセルは難しい。
- ◆ 写真や絵はPCTカーは読まない。「写真があります」などと説明の文字があるといい。こんな画像だよという「おもてなし」があるとうれしい。何も無いと無音になり、PCが固まったかと思ってしまう。

- ◆ QRコードは、どこにあるかわからない。
- ◆ 英単語は基本的によく読める。
- ◆ 一つの単語、語句、熟語は途中で改行せず、文末が不揃いでもその前で改行してほしい。
- ◆ 「連」を通して、小平はいろいろな行事等をしていて、感心する。

《羽鳥さんより》・・・取材後、メールで

連は毎月発行され 視覚障害者パソコン教室にもメール配信と墨字が届きます。会員には転送で届けています。

pc-talker というスクリーンリーダーを使って画面情報を音声で読んでいます。

日本語は 異口同音(同音異句)があり 英語より誤読は多いように感じます。

句読点、()、分かち書きなど読みやすい工夫があった方が好ましいと感じます。

Word 文書で作成した表は セル移動が下手で Excel での読みが上手です。

大切な言葉など二行に分かれないように留意しています。

見えない私たちには Word文章を 書式なし(テキストファイル)に変更して直接 メール本文に貼り付けていただくのが 好ましいようです。その際 冒頭に見出しがあれば 読みの目安になります。イベント情報など タイミングにより 成果が分かりますね。

《取材を終えて》

聞きやすさは、個々それぞれ。機会があれば、読み手に「どんな風にすると読みやすい?」と聞いてみるのがまず一番です。なにごとによらず、コミュニケーションこそ大切、ということではないかと感じました。

(取材:藤原、藤川、佐藤、伊藤 文責:伊藤)